

2020年3月27日
丸紅株式会社

英国シージャックス社 秋田県秋田港及び能代港における洋上風力発電所向け基礎据付契約締結 及び洋上風力据付船の導入について

丸紅株式会社（以下、「丸紅」）が株式会社 INCJ、株式会社商船三井と共同出資する英国洋上風力据付大手 **Seajacks International Limited**（以下、「シージャックス社」）は、100%子会社であるシージャックス・ジャパン株式会社を通じて、丸紅が出資する国内初の商業ベースでの着床式大型洋上風力発電事業である、秋田県秋田港及び能代港における洋上風力発電所向けの基礎据付契約を、鹿島建設株式会社と 2020年3月23日に締結しました。本契約はシージャックス社にとって日本における第一号案件となり、保有する大型洋上風力据付船 **Zaratan** 号にて、2021年より日本で初めてとなる大型洋上風力据付船による据付工事を行う予定です。

シージャックス社は、世界最大級の洋上風力据付船を含む5隻の据付船を保有しており、これまでに欧州を中心に450基以上の洋上風力タービンの据付実績を有しています。アジアでは2018年に、台湾初の商業ベースでの大型洋上風力発電事業である **Formosa1 Phase2** 洋上風力発電所（120MW）向けのタービン据付用船契約を締結し、2019年に工事を無事に完了しました。また同じく2019年に、台湾 **Formosa 2** 洋上風力発電所（376MW）向けタービン据付用船契約（2021年据付開始予定）、台湾 **Greater Changhua** 洋上風力発電所（888MW）向けタービン据付用船契約（2022年据付開始予定）を相次いで受注しました。シージャックス社は、洋上風力据付案件に積極的に取り組むことで、サプライチェーンの観点からも、欧州に続き日本・アジアにおける洋上風力市場の成長に貢献していきます。

丸紅は海外で累計112.4GW超の発電所建設実績を有し、世界19カ国にて持分容量12.5GW超の発電資産を保有・運営しています。再生可能エネルギー分野において、洋上風力発電は大容量且つ高効率の発電方式として欧州・アジア・米国を中心に更なる市場拡大が見込まれており、丸紅は、事業への参画・運営からシージャックス社の洋上風力据付船による据付工事に至るバリューチェーンにおいて、積極的に事業展開していきます。

丸紅はサステナビリティ推進の一環として、世界の気候変動対策への取組みに貢献すべく、2018年9月に発表した石炭火力発電事業及び再生可能エネルギー発電事業に関する取組み方針に基づき、今後も積極的に再生可能エネルギー発電事業の開発を推進していきます。

<関連プレスリリース>

- 2020年2月3日

秋田県秋田港及び能代港における洋上風力発電プロジェクトの実施、及び融資契約締結について

<https://www.marubeni.com/jp/news/2020/release/20200203J.pdf>

- 2018年9月18日

サステナビリティへの取組み方針に関するお知らせ

（石炭火力発電事業及び再生可能エネルギー発電事業について）

<https://www.marubeni.com/jp/news/2018/release/00036.html>

<シージャックス社が保有する洋上風力据付船>



左：Zaratan 号（ザラタン号。秋田港・能代港における据付工事に導入予定。写真は台湾 Formosa1 Phase2 洋上風力発電所のタービン据付時。）

右：Scylla 号（シーラ号。世界最大級の洋上風力据付船。写真は英国 Walney Extension 洋上風力発電所のタービン据付時。）

<Seajacks International Limited 概要>

設立 : 2006 年

所在地 : 英国ノーフォーク州グレートヤーマス

代表者 : Blair William Ainslie

Web : <https://www.seajacks.com>

事業内容 : 洋上風力発電タービン・付帯設備据付事業、洋上オイル&ガス向けサービス事業

以上